

参考文献

目録類

- 仏眼山竺徹定編『古経題跋』上・下（1869年）。
- 田中光顕『古経題跋随見録』巻1・巻2（1919年）
- 宮内庁書陵部編『圖書寮典籍解題 漢籍編』（大蔵省印刷局、1960年）。
- 養鷗徹定著・藤原弘道編『古経搜索録』（藤原弘道、1972年）。
- 田中塊堂『日本古写経現存目録』（思文閣刊、1973年）。
- 川瀬一馬編・発行『龍門文庫善本書目』（坂本龍門文庫、1982年）。
- 鈴木徳三編『弘文荘侍賈古書目総索引』（八木書店、1988年）。
- 宮崎健司『日本古代の写経と社会』（塙書房、2006年）。

図録類

- 奈良国立博物館編『奈良朝写経』（東京美術・佐々藤雄、1983年）。
- 東京国立博物館・京都国立博物館・比叡山延暦寺・朝日新聞社編『比叡山と天台の美術』（朝日新聞社、1986年）。
- 東京国立博物館・奈良国立博物館・奈良国立文化財研究所・法隆寺・法隆寺昭和資財帳編集委員会・NHK・NHKプロモーション編『～法隆寺昭和資財帳調査完成記念～国宝法隆寺展』（NHK、1994年）。
- 神奈川県立金沢文庫編『特別展 写経と摺経』（神奈川県立金沢文庫、1995年）。
- 文化庁監、毎日新聞社図書編集部編『国宝・重要文化財大全』第7巻「書跡 上」（毎日新聞社、1998年）。
- 落合俊典編『七寺古逸經典研究叢書 第六巻 中國・日本經典章疏目録』（大東出版社、1998年）。
- 文化庁監、毎日新聞社図書編集部編『国宝・重要文化財大全』第8巻「書跡 下」（毎日新聞社、1999年）。
- 東京国立博物館・総本山醍醐寺・日本経済新聞社編『国宝 醍醐寺展』（日本経済新聞社 2001年）。
- 根津美術館『根津美術館蔵品選 仏教美術編』（根津美術館、2001年）。
- 奈良国立博物館編『特別陳列 龍門文庫 知られざる奈良の至宝』（奈良国立博物館、2002年）。

奈良国立博物館編『特別展 金沢文庫の名宝—鎌倉武家文化の精華—』（奈良国立博物館 2005年）。

奈良国立博物館編『第六十回「正倉院展」目録』（仏教美術協会、2008年）。

奈良国立博物館編『第六十一回「正倉院展」目録』（仏教美術協会、2009年）。

奈良国立博物館編『第六十二回「正倉院展」目録』（仏教美術協会、2010年）。

東京国立博物館・読売新聞東京本社文化事業部編『特別展 光明皇后1250年御遠忌記念 東大寺大仏 天平の至宝』（読売新聞東京本社、2010年）。

東京国立博物館・読売新聞社・NHK・NHKプロモーション編『空海と密教美術展』（読売新聞社・NHK・NHKプロモーション、2011年）。

奈良国立博物館編『天皇皇后両陛下傘寿記念 第六十六回「正倉院展」目録』（仏教美術協会、2014年）。

京都国立博物館・京都仏教各宗学校連合会編『京都国立博物館・京都仏教各宗学校連合会特別展観 第一〇〇回大蔵会記念 仏法東漸—仏教の典籍と美術—』（京都国立博物館・京都仏教各宗学校連合会、2015年）。

堺市博物館編『堺・経典をめぐる文化史』（堺市博物館、2018年）。

京都国立博物館編『京都国立博物館寄託の名宝 美を守り、美を伝える』（京都国立博物館、2019年）。

奈良国立博物館編『第七十一回「正倉院展」目録』（奈良国立博物館、2019年）。

奈良国立博物館編『特別展 国宝の殿堂 藤田美術館展 曜変天目茶碗と仏教美術のきらめき』（奈良国立博物館・朝日新聞社・NHK奈良放送局・NHKプラネット近畿、2019年）。

大津市歴史博物館編『聖衆来迎寺と盛安寺 明智光秀ゆかりの下阪本の社寺』（大津市歴史博物館、2020年）。

京都国立博物館編『京都社寺調査報告 II』～『社寺調査報告 XXXI 観心寺』（京都国立博物館 1981年～2022年）。

Webページ

文化遺産オンライン <https://bunka.nii.ac.jp/>（最終閲覧日2025年3月21日）。

国指定文化財データベース <https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index>（最終閲覧日2025年3月21日）。

書陵部所蔵資料目録・画像公開システム <https://shoryobu.kunaicho.go.jp/>（最終閲覧日2025年3月21日）。

SAT大正新脩大藏經テキストデータベース <https://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/>（最終閲覧日2025年3月21日）。

大日本史料総合データベース <https://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/w61/search>（最終閲覧日2025年3月21日）。

東京国立博物館 研究情報アーカイブズ <https://webarchives.tnm.jp/>（最終閲覧日2025年3月21日）。

正倉院・写経所文書データベースShaDa <https://www.lit.osaka-cu.ac.jp/new-departure/shada/>（最終閲覧日2025年3月21日）。

書籍類

田中塊堂『天平写経集』（二玄社、1963年）。

天理図書館善本叢書和書之部編集委員会編『天理図書館 善本叢書 和書之部 第三十二巻 類聚名義抄 観智院本 佛』（天理大學出版部、1976年）。

天理図書館善本叢書和書之部編集委員会編『天理図書館 善本叢書 和書之部 第三十三巻 類聚名義抄 観智院本 法』（天理大學出版部、1976年）。

天理図書館善本叢書和書之部編集委員会編『天理図書館 善本叢書 和書之部 第三十四巻 類聚名義抄 観智院本 僧』（天理大學出版部、1976年）。

井上靖・飛鳥井明實『古寺巡礼 近江 1 聖衆来迎寺』（淡交社、1980年）。

小松茂美『日本の書1 写経』（中央公論社、1982年）。

頼富本宏・赤尾栄慶『写経の鑑賞基礎知識』（至文堂、1994年）。

山下有美『正倉院文書と写経所の研究』（吉川弘文館、1999年）。

栄原永遠男『奈良時代の写経と内裏』（縞書房、2000年）。

佐々木丞平編集代表、『天平写経とその周辺：研究発表と座談会』（仏教美術研究上野記念財団助成研究会、2006年）。

上代文献を読む会編『上代写経識語注釈』（勉誠社、2016年）。

国際仏教学大学院大学日本古写経研究所編集・発行『日本古写経善本叢刊 第十輯 法道寺蔵天平写経 雑阿含経 卷第三十六 岩屋寺蔵思溪版 高僧伝 卷第一』（国際仏教学大学院大学日本古写経研究所、2019年）。

青木佳伶『『注大般涅槃経』の文献学的研究』（法藏館、2022年）。

斯道文庫編『訂正新版 図説 書誌学—古典籍を学ぶ』（勉誠社、2023年）。

辞書類

有賀要延編『難字・異体字典』（国書刊行会、1987年）。

李圭甲編『高麗大藏經異體字典』（高麗大藏經研究所、2000年）。

雑誌論文類

松尾包夫「聖語藏阿毘達磨順正理論の書写と五月一日経完成史上の一断層」『大和文化研究』第7巻7号（大和文化研究会、1962年）。

松尾包夫「聖語藏五月一日経の筆者と書写年代その他（一）」『書陵部紀要』第15号（宮内庁書陵部、1963年）。

松尾包夫「聖語藏五月一日経の筆者と書写年代その他（二）」『書陵部紀要』第16号（宮内庁書陵部、1964年）。

松尾包夫「聖語藏五月一日経の筆者と書写年代その他（三）」『書陵部紀要』第17号（宮内庁書陵部、1965年）。

小林芳規「正倉院聖語藏華嚴経探玄記古点と大乘阿毘達磨雜集論古点について」『正倉院年報』第7号（宮内庁正倉院事務所、1985年）。

遠藤嘉基「正倉院の点本調査をめぐって」『正倉院紀要』第7号（宮内庁正倉院事務所、1985年）。

杉本一樹「聖語藏経巻紀年銘集成（一）」『書陵部紀要』第7号（宮内庁正倉院事務所、1985年）。

築島裕「正倉院聖語藏大智度論古点及び央掘魔羅経古点について」『正倉院年報』第7号（宮内庁正倉院事務所、1985年）。

松嶋順正「終戦直後の正倉院一宝物疎開を中心として一」『書陵部紀要』第7号（宮内庁正倉院事務所、1985年）。

黒田洋子「正倉院文書の一研究一天平宝字年間の表裏関係から見た伝来の契機一」『お茶の水史学』第36号（お茶の水女子大学比較歴史学講座読史会、1992年）。

『茶道の研究 第38巻号452号』（三徳庵、1993年）。

杉本一樹「聖語藏経巻紀年銘集成（二）」『書陵部紀要』第19号（宮内庁正倉院事務所、1997年）。

山下有美「五月一日経「創出」の史的意義」『正倉院文書研究』6（正倉院文書研究会、1999年）。

飯田剛彦「玻璃装仮整理文書断片の調査」『正倉院紀要』第26号（宮内庁正倉院事務所、2004年）。

米田雄介「聖語蔵本『成唯識論』卷四と慈恩大師」『書陵部紀要』第26号（宮内庁正倉院事務所、2004年）。

東大寺図書館「正倉院聖語蔵経巻調査報告（一）—奈良時代書写の華嚴経について—」南都佛教研究會『南都仏教』第86号（東大寺図書館、2005年）。

成瀬正和・飯田剛彦「[短報] X線分析による神護景雲二年御願経の軸端に用いられた顔料の調査」『正倉院紀要』第27号（宮内庁正倉院事務所、2005年）。

山本信吉「聖語蔵『大方広仏華嚴経 自卷七十二卷至八十』の書誌的考察」『書陵部紀要』第28号（宮内庁正倉院事務所、2006年）。

杉本一樹「聖語蔵経巻『四分律』について」『正倉院紀要』第29号（宮内庁正倉院事務所、2007年）所収。

小林芳規「日本語訓点表記としての自点・朱点の始原」古典研究会編『汲古』第53号（汲古書院、2008年）。

赤尾栄慶「聖語蔵経巻発見—調査報告にかえて—」『正倉院紀要』第32号（宮内庁正倉院事務所、2010年）。

小林芳規「日本のヲコト点の起源と古代韓国語の点吐との関係」古典研究会編『汲古』第57号（汲古書院、2010年）。

飯田剛彦「聖語蔵経巻「神護景雲経巻」について」『正倉院紀要』第34号（宮内庁正倉院事務所、2012年）所収。